第1回 舟橋村地域公共交通会議

舟橋村地域公共交通計画策定に向けて

計画期間　令和9年度から令和13年度（5年間）

令和8年11月6日　　舟橋村

本日の説明内容

資料1
舟橋村の地域交通の現状と課題

①村の概況と交通ネットワーク

②生活満足度調査からみた移動実態

③交通空白リスクと課題の整理

資料2
計画の基本的な方針

①基本理念と目指す交通の姿

②3つの基本方針

③6つの施策と実施時期

資料3
計画の目標

①令和13年度末に目指す姿

②観点別の目標値（KPI）

③評価と見直しの進め方

説明後、委員の皆様からご意見を頂戴します

資料1

舟橋村の地域交通の現状と課題

①舟橋村の概況

3.47km²	約3,286人	21.8%	約15分
面積（全国最小）	人口（令和8年10月1日現在）	年少人口割合（全国1位）	越中舟橋駅から富山駅

村内の地区構成（12地区）

- **駅周辺地区** 舟橋
- **旧市街地区** 仏生寺、海老江、竹鼻、古海老江、東芦原
- **新市街地区** 竹鼻団地、東芦原団地、きらめきの郷、稲荷、国重、竹内

今後の見通し

- 子育て世代の転入により人口は増加傾向
- 一方で、全国的な人口減少の影響が見込まれる
- 現在の子育て世代の高齢化に伴い、将来の交通需要が変化

①交通ネットワークの現状

鉄道

富山地方鉄道本線（越中舟橋駅）

- 村内唯一の公共交通機関
- 富山駅へ約15分、上市まで約5分
- 舟橋村立図書館を併設

路線バス

村内に運行なし

- 村内移動、近隣自治体への移動は主に自家用車に依存

タクシー

近隣自治体の事業者が配車

- 配車までの待ち時間
- 料金負担が課題

越中舟橋駅の駐車場（パークアンドライド）

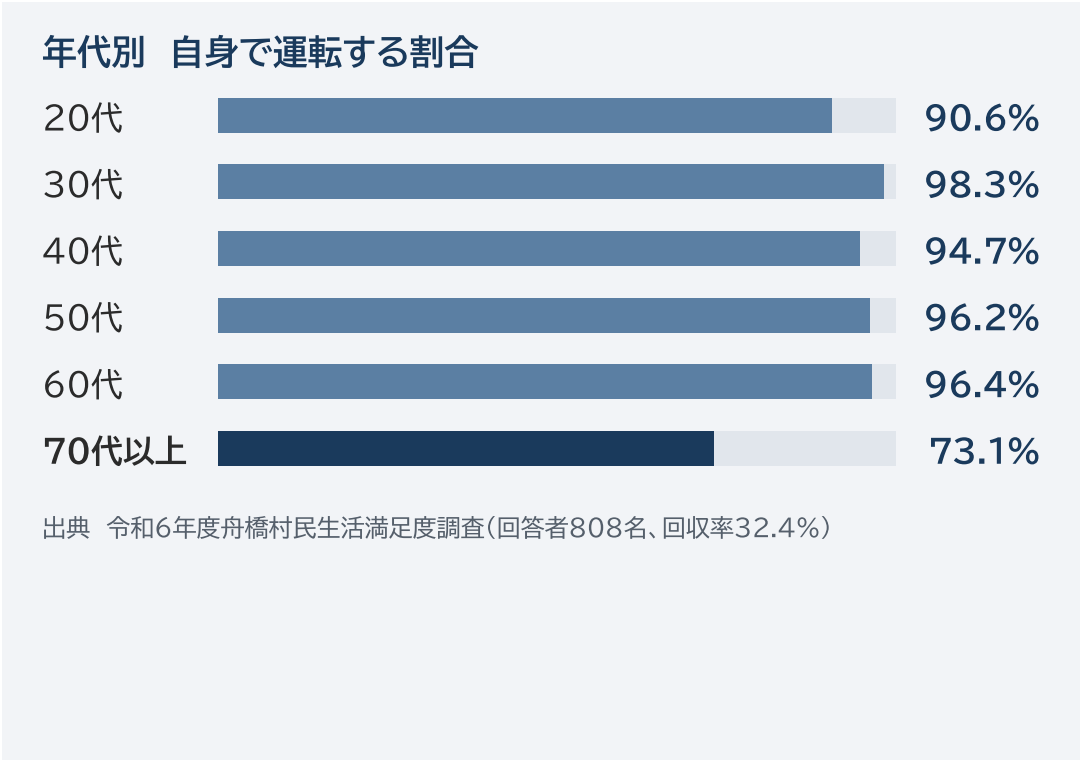
約150台	2時間まで無料	2時間以上 200円
駐車台数	短時間利用	通勤･通学等の利用

②村民の移動実態（1）自動車への高い依存

96.6%
世帯の自動車保有率

91.2%
自身で運転する割合

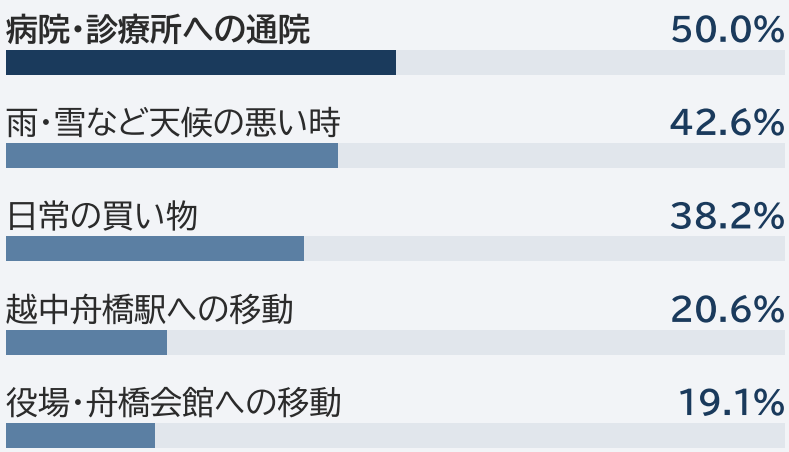
26.9%
70代以上で自身で運転しない割合（約4人に1人）



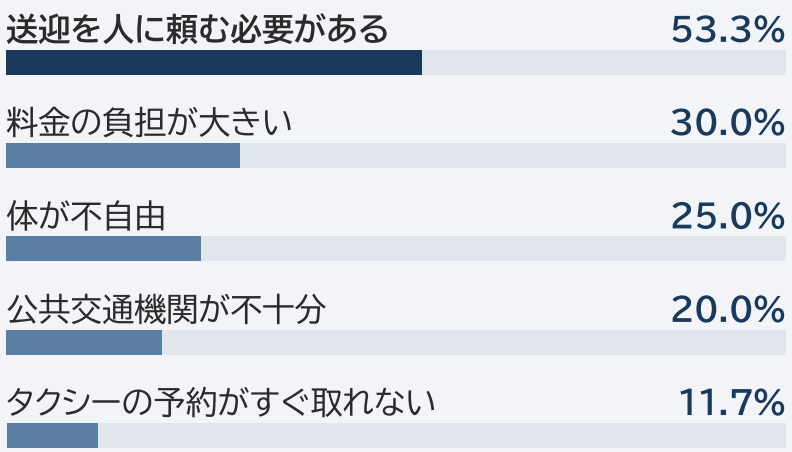
出典　令和6年度舟橋村民生活満足度調査（回答者808名、回収率32.4%）

②村民の移動実態（2）運転しない人が困っていること

移動手段に困る場面（n=68）



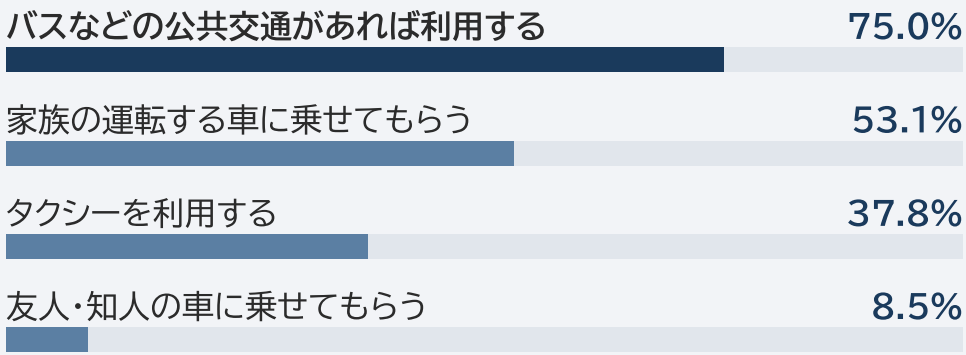
移動手段に困る理由（n=60）



70代以上では「通院」で困る方が**59.5%**、「日常の買い物」で困る方が**47.6%**とさらに高い

②村民の移動実態（3）公共交通への期待

免許返納後に期待する移動手段（n=695）



村民の声（自由記述より）

- コミュニティバスがほしい
- 100円バスのようなものがほしい
- 地域で乗り合う送迎サービスを望む
- 自動運転車（無人移動手段）に期待
- セニアカーの普及を期待

公共交通への潜在的な需要は高いが、村内にはその受け皿がない

②交通空白リスクと潜在的な交通需要

自身で運転する割合が90%未満の地区

地区名	運転する割合	特記事項
竹鼻団地地区	81.8%	移動困難者が最も多い
海老江地区	83.3%	高齢者比率が高い
仏生寺地区	86.1%	高齢者比率が高い
舟橋地区	88.8%	駅周辺だが高齢者が多い
稲荷地区	89.7%	－

交通空白の判断基準　駅から500m以遠、地区別高齢化率、運転しない人の割合10%以上

潜在的な交通需要

高齢者の免許返納後の移動
70代以上の26.9%が既に運転できず、今後さらに増加

子育て世代の送迎負担
部活動の地域移行に伴う送迎、通院、買い物の補助的な交通手段

若年層の公共交通利用
20代の運転率は90.6%と他年代より低く、転換の可能性

③地域公共交通の課題（3つの観点）

観点1　幹・枝の交通

公共交通軸と拠点の充実

- 富山地方鉄道の利用促進
- 駅と役場・医療機関等の主要施設とのアクセス
- 周辺自治体との連携が鉄道のみ

観点2　葉の交通

交通空白における移動の確保

- 高齢者の移動手段不足（70代以上の26.9%）
- 家族等の送迎への依存（53.3%）
- 通院時（50.0%）・悪天候時（42.6%）の移動困難
- 公共交通への期待（75.0%）に応える受け皿がない

観点3　共通

持続可能性・実現可能性

- 料金負担（30.0%）
- タクシーの配車待ち（11.7%）
- 担い手を近隣自治体の事業者に依存
- 限られた財政規模

③課題の優先順位

優先度	重要度	緊急度	課題
A（最優先）	**高**	**高**	**高齢者の通院・買い物等の移動手段確保**
B	中	高	悪天候時の移動手段確保
C	高	中	富山地方鉄道の利用促進
C	高	中	駅と主要施設のアクセス改善
D	中	中	交通情報の周知・啓発

最優先は「高齢者の通院・買い物等の移動手段の確保」

資料2

計画の基本的な方針

資料2　計画の基本的な方針

①基本理念と目指す交通ネットワーク

基本理念

日本一小さな村だからこそ実現できる、
誰もが安心して移動できるコンパクトな交通体系の構築

3層構造の交通ネットワーク

幹の交通 地域間幹線	富山地方鉄道本線による富山市、上市町、立山町との広域連携を維持・強化。越中舟橋駅を広域交通の結節点に
枝の交通 地域内幹線	越中舟橋駅を中心とした拠点形成。駅と公共施設等とのアクセスを確保
葉の交通 ラストワンマイル	駅から離れた地区・高齢者向けに、コミュニティバス等の新たなサービスを展開

②3つの基本方針

方針1

富山地方鉄道を軸とした公共交通ネットワークの維持・強化

越中舟橋駅の交通結節機能を維持し、パークアンドライドの利用促進により富山市等との広域連携を維持・強化する

対応する課題　観点1

方針2

「交通空白」解消に向けた新たな移動手段の導入

駅から離れた地区・高齢者向けにコミュニティバス等の新たな移動サービスを導入し、通院・買い物・駅や公共施設等へのアクセスを確保する

対応する課題　観点2（最優先課題）

方針3

多様な関係者との連携による持続可能な交通体系の構築

富山地方鉄道、タクシー事業者、周辺自治体、住民等との連携・協働により、限られた資源の中で持続可能なサービスを構築する

対応する課題　観点3

資料2　計画の基本的な方針

③施策の全体像（6施策）

施策	施策名	方針	実施主体	R8	R9	R10～R13
1	村内バス実証実験・ニーズ調査	2	村	●		
2	コミュニティバス等の新たな移動サービスの導入検討	2	村		●	●
3	グリーンスローモビリティ導入検討	2	村		●	●
4	パークアンドライド利用促進	1	村・富山地鉄	●	●	●
5	交通情報のデジタル化・周知強化	1	村	●	●	●
6	周辺自治体との広域連携協議	3	村・県・周辺市町	●	●	●

●：実施予定年度

③令和8年度の重点取組　村内バス実証実験

R8
村内バス実証運行
利用状況調査、村民アンケート（利用意向、ルート・時間帯等）

R9
結果の評価・導入検討
コミュニティバス等の導入検討、ルート・料金・費用対効果の検討

R9～
多様な手段の検討
グリーンスローモビリティの検討・試験運行

R13まで
村に適した移動サービスの確立
鉄道・パークアンドライドと連携した村内移動の確保

実証実験のねらい

- 「バス等があれば利用する」75.0%の需要を具体的に把握
- 本格導入に向けた課題の抽出
- 村民の公共交通への関心の喚起

コミュニティバス等の検討の視点（施策2）

- 運行ルート・ダイヤ（通院・買い物・公共施設等）
- 料金設定
- 周辺自治体との連携
- 運行事業者・費用対効果

資料3

計画の目標

資料3　計画の目標

①令和13年度末に目指す姿

1　高齢者・移動制約者の移動手段の確保

免許返納後も安心して外出でき、通院・買い物等の日常的な移動に対応できている

2　移動の不安の解消

村民の75%以上が移動手段に不安を感じていない

3　富山地方鉄道の利用の維持・促進

パークアンドライドの利用が促進され、越中舟橋駅の乗降客数が維持されている

4　持続可能な交通体系の構築

財政負担を抑えつつ必要なサービスが提供され、地域の支え合いによる移動支援が機能している

資料3　計画の目標

②目標値（KPI）

指標	算出方法	現状値	目標値（R13）
観点1　公共交通軸と拠点の充実			
越中舟橋駅の乗降客数	乗降客数（1日平均）	379人	現状維持以上
パークアンドライド利用台数	駐車場利用調査	47,333台（R7）	現状＋5%
観点2 「交通空白」における移動の確保			
移動手段に困る人の割合	アンケート（運転しない人）	66.2%（R6）	50%程度
観点3　持続可能性・実現可能性の確保			
公的資金投入額	交通関連事業費／年	23,787千円（R8）	適正水準維持

③目標の評価と見直しの進め方

Plan	Do	Check	Act
年度実施計画の策定 毎年度4月	施策の実施 通年	KPIの確認・評価 毎年度3月	計画の見直し・改善 必要に応じて随時

毎年度

KPI達成状況を確認し、本会議に報告

令和11年度（中間年度）

中間評価を行い、必要に応じて施策を見直し

令和13年度（最終年度）

総括評価を行い、次期計画に反映

今後のスケジュール

計画策定に向けた会議の開催予定（協議の内容は案）

第1回会議 令和8年11月 （本日）	・会議規約について ・舟橋村の地域交通の現状と課題 ・計画の基本的な方針 ・計画の目標 ・意見交換
第2回会議 令和8年12月	・舟橋村地域公共交通計画（素案）について ・具体的な施策、事業について ・パブリックコメントの実施 ・意見交換
第3回会議 令和9年2月	・舟橋村地域公共交通計画（案）について ・パブリックコメントの結果

本日ご意見をいただきたい事項

資料1　現状と課題

課題の捉え方や優先順位に過不足はないか、各分野からみた補足すべき実態はないか

資料2　計画の基本的な方針

3つの基本方針と施策の方向性、令和8年度の村内バス実証実験の進め方

資料3　計画の目標

目標値（KPI）の項目と水準の妥当性